

【主催】 中国語コミュニケーション能力検定協会

【共催】 早稲田大学中国語教育総合研究所
株式会社 空間概念研究所



テスト理論から考える中国語教育— TECCの「これまで」と「これから」

今回の研究会では、中国語教育の現状と未来について、以下の流れで進行いたします：

1. IRT（項目反応理論）の深掘り

- 専門家によるIRTを中心としたテスト理論の講演
- 言語テストの基本概念の解説
- IRT理論の重要性とテストの効果的な設計に関する洞察

2. TECCの展望とTECC - iBTの紹介

- TECCの歴史と今後の方向性についての議論
- オンライン試験として新登場のTECC - iBTの詳細紹介
- TECCが今後どのようなアプローチで試験を進めるのかの解説

3. 現場からの意見交換セッション

- 教員2名を招き、中国語教育の専門家としての見解を共有
- 第二外国語としての中国語教育におけるTECCの役割とその寄与についてのディスカッション

*対象は中国語教育の研究者、大学院生、その他言語テストや第二言語習得に興味関心のある方々

【日時】

2023年9月16日（土）14:00～17:00

【場所】

早稲田大学戸山キャンパス 39号館 第7会議室（地下鉄東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩3分）

【プログラム】

- (1) テストと言語教育：テスト理論・IRT理論を中心に（ゲスト講師 光永 悠彦）
- (2) 質疑応答
=====休憩=====
- (3) これからのTECC—iBTは何をどのように測るのか（早稲田大学文学学術院 楊 達）
- (4) 大学での中国語教育の現場から
（大阪大学人文学研究科 古川裕・ 神奈川大学外国語学部 鈴木慶夏）
- (5) 質疑応答

*終了後懇親会を予定しています。（費用3,000円～4,000円程度）

【定員】

40名

【お申し込み】

URL：<https://forms.gle/sZu2UhEQ8beRBdhN6>



申込フォーム

ゲスト講師の紹介

名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了、博士(学術)。専門は心理統計学、テスト理論、多変量解析。著書に『テストは何を測るのか—項目反応理論の考え方』（ナカニシヤ出版、2017年）など。

【参加方法】

当日参加は可能。オンラインの方は以下のURLから参加することもできます。

URL：<https://list-waseda-jp.zoom.us/j/92953625022?pwd=cEdtYlFnWnF2T1lmK3dQVW5zbWMYQT09>

【お問い合わせ】

Eメール：yoht@waseda.jp（早稲田大学文学学術院 楊達）

【アクセス】

- 電車で JR山手線 高田馬場駅から徒歩20分
西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分
地下鉄東西線 早稲田駅から徒歩3分
地下鉄副都心線 西早稲田駅から徒歩12分
バス 高田馬場駅 - 早大正門、馬場下町バス停

39号館

